

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	膀胱癌扁平上皮分化の遺伝的背景探索及び新規分子標的核酸製剤の開発と有用性の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 泌尿器科 (職名) 医員 (氏名) 芳賀俊介
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2028年3月31日
対象	2009年4月から2023年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち尿路上皮癌(膀胱癌を含む)と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料(血液・細胞・排泄物・手術検体など)
研究の概要	尿路上皮がん、特に膀胱癌はさまざまな治療にもかかわらず、治療が難しく予後の悪いがんとして有名ですが、そのうち分化という特殊型を伴うものはさらに治療の反応性が異なることが報告されています。2022年にWHOから新しく特殊型を6つに分類することが提案されましたが、その分類診断をはっきりさせるマーカーはなく、それぞれ分類に応じた細かな個別化治療もはっきりわかっていないのが課題です。今回は6分類のうち最多の扁平上皮分化というタイプにおける診断や治療に役立つ技術開発を目標としています。病院には手術を受けた際に取り出した組織が保存されていますので、それを用いて技術研究を行います。また、通常の尿路上皮がんから分化という特殊型を得ていく過程を遺伝子レベルで検査することでその成り立ちを研究することができます。こちらも保存されて

	<p>いる手術組織で可能ですので、この研究のために追加で治療などを受ける必要はありません。</p>
個人情報の取扱い	<p>収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。</p> <p>なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 芳賀俊介 791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel: 089-960-5356</p>